

## 伊賀市文化振興プラン前期実行計画に基づくヒアリング概要

実施日 令和5年8月4日（金）、8日（火）  
場 所 芭蕉翁記念館 和室  
対 象 公益財団法人前田教育会、公益財団法人芭蕉翁顕彰会

## 内 容

## 1. 公益財団法人前田教育会

## 《主な事業》

## ・「蕉門キネマ『お終活』」

これまで後援団体であった伊賀市社会福祉協議会と、今回から共催で行った。上映作品は、社会での様々な問題を取り上げ、地域の方々の要望も考慮しつつ選択。今後も、社会福祉協議会と共催することとし、社会情勢に沿った作品を上演予定。

## ・「こども蕉門大学」

小中学生を対象とし、夏休み期間に体験教室を実施。ただし、例年希望者が少ない。次世代に伝授すべきことと位置づけ、俳句教室は少人数であっても継続の方針。

## ・「高校生の作品展示」

常設展示場を未来ある子どものために、近隣の高校生に順番に使ってもらっている。高校生の発表の場が少ないことや高校の教員が当該法人の奨学生であったことなどから始まった。

## 《前田教育会から》

- ・今回のヒアリングで、事業をあらためて見直し、市や文化都市協会と話をすることで文化振興プランの仕組みがよくわかった。

## 《文化振興課、文化都市協会から》

- ・事業カードにより実施事業の把握ができた。アウトリーチや事業連携の可能性のある事業のあることがわかり、今後に繋げたい。

## 2. 公益財団法人芭蕉翁顕彰会

## 《主な事業》

## ・「丸之内地下道掲示板 芭蕉さんの句及び既設の句掲示」

今年度からの新規事業。毎日通る高校生たちが季節の移り変わりを感じることや、観光客などが、芭蕉翁のふるさと伊賀らしさを感じることができるよう、チラシやポスターを掲示。

## ・「俳句入門講座」

初心者を対象に句会に参加できるまでの内容とし、伊賀の俳句人口増加を目指す。昨年度、周知方法を見直したところ参加者が増えた。

- 「夏休みこども俳句指導」、「芭蕉翁生誕地のこども『俳句で遊ぶ』」、「こども俳句合せ（バトルバナナ）」など

子どもたちが俳句を楽しむ、芭蕉翁の偉業を学ぶ、日本文化を体験する、夏休みの宿題となっている俳句の指導を行うことなどを目的に実施している。会場まで送迎がないと行けない子どももいるため、巡回も検討した。

場所や受け皿となるスタッフ数が課題。

《芭蕉翁顕彰会から》

- 法人の役割を果たすため取り組んでいるが、施設管理だけでなく企画や事業展開をしていく難しさを感じている。
- 伊賀市の文化関係行事（教育、観光、自治協）のスケジュールがわかるのもがあとよい。

《文化振興課、文化都市協会から》

- 公益財団法人芭蕉翁顕彰会の存在は、都市文化の推進の上で必要。
- 事業カードにより実施事業の把握ができた。アウトリーチや事業連携の可能性のある事業のあることがわかり、今後に繋げたい。